



令和4年(2022)6月12日発行



# 京都市会議員団ニュース

■発行人／橋村芳和

■編集委員／森田守

〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091 <http://jimin-kyoto.jp/>

## 補正予算総額 81億5500万円

5月市会では、①新型コロナウイルスワクチン接種について、新たに4月から開始した12歳〜17歳の3回目接種や、4回目接種の実施、②今後の感染拡大に対応するための医療体制の強化、③原油価格・物価高騰等総合緊急対策として、低所得の子育て世帯を対象に、児童1人当たり5万円の給付金の支給、④令和5年4月に

サービス開始予定のICカードによるポイントサービスの導入や、「バスの運行情報のオープンデータ化」に向けたシステム構築に加え、⑤市民からの寄付を活用した、宝が池公園運動施設球技場及び下鳥羽公園球技場の人工芝等の改修と、宝が池公園内におけるスケートボードをはじめとするアーバンスポーツ対応施設整備など、総額

81億5500万円を増額する補正予算案を可決しました。なお今回の補正予算の財源内訳は、全額、国庫支出金、府支出金、市民からの寄付となっており、京都市一般財源からの支出はありません。自由民主党京都市会議員団は、引き続き、国、京都府としっかりと連携し、持続可能な京都市財政の確立に向けて提言を行ってまいります。

市民の皆様の疑問にお答えします

### 漆塗りのエレベーター 本当に必要な？

地下鉄に西陣織・京友禅

京都市役所本庁舎改修工事、また地下鉄車両リニューアルに伴い、市民の方々から様々なご意見・お声をいただきました。今回はそんな疑問にお答えするとともに、事業に携わっていただいた方々のお声を紹介します。

昭和初期に建設された本庁舎をはじめとする市庁舎は、耐震やバリアフリーに大きな問題があったため、平成2年より整備の検討を開始し、議論を重ね平成25



ステンドグラス

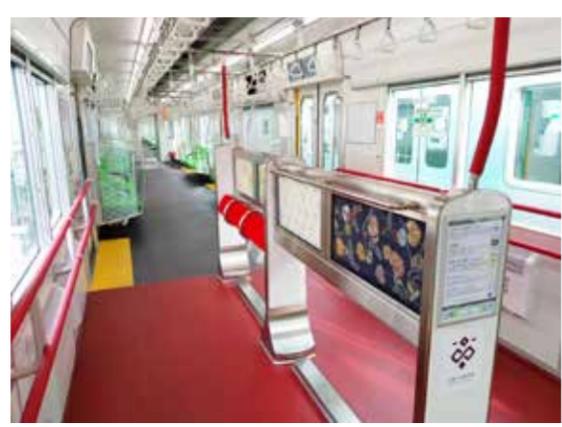


京の伝統工芸 謎の時計



漆塗りのエレベーター扉

本庁舎に設置された伝統工芸品



地下鉄新車両の「おもいやりエリア」

年に基本計画を定めた上で事業化し、昨年8月によりやく本庁舎が完成しました。

本庁舎の整備にあたっては、京都の伝統文化を感じていただけることをコンセプトとし、①京都の四季折々の行事や風物を表現した「ステンドグラス」、②京都の伝統産業技術を駆使した「京の伝統工芸謎の時計」、③漆や時絵などの装飾を施した「漆塗りのエレベーター扉」を設置しました。

このうち①②については、**ご寄付いただき**、③の「漆塗りエレベーター扉」については、伝統的な漆塗りを、京都市産業技術研究所と市内企業が共同で開発した金属への装飾という新たな技術を用い、京都の伝統産業の活性化を目的として設置されました。また、使用済小型家電から回収したりサイクル金を時絵の装飾に活用し、同研究所の伝統産業技術後継者育成研修の修了生に制作協力をいただいています。

地下鉄烏丸線車両の更新については、開業から40年間使用している9編成については老朽化が進み、一般に30年程度と言われている車両の耐用年数から見ても、このまま使用することは故障や脱線等の重大な事故を生じる可能性があるとのことでした。そこで京都市交通局では、平成24年度から新型車両導入の検討に着手し、本年3月26日から、新型車両が営業運行を開始したところ。新型車両への京都の伝統産業・素材の活用は、業界全体の振興につながれたいという各伝統産業の組合、事業者の思いと交通局の思いが一致して実現しました。特に「西陣織」と「京友禅」は、組合・事業者からのご厚意によって無償で素材をご提供いただいております。その結果、新型車両における伝統産業素材の活用に係る費用は、「京都市交通局章」、「釘隠し」、「吊手」等を合わせて、総額約120万円に抑えられています。

自民党議員団は、効果的

な税金の使途を議論しつつ、京都の伝統産業の振興、経済の活性化もしっかりと進めてまいります。

**コメントを紹介します。**

**京都産業技術研究所**

長期低迷している伝統産業の活性化が急務となっています。市内事業者と共同開発し、特許取得した画期的な漆のエレベーター扉を多くの人に御覧いただき、漆の用途拡大に弾みが付くことを期待しています。今後も伝統産業と先進技術を融合し、更に活性化に努めてまいります。

**西陣織工業組合**

長らく「コロナ禍で京都の伝統産業界が大きく打撃を受けている中、京都の伝統産業の振興のため、また、市民に身近に西陣織の伝統美と技に触れて頂けるといふ想いから、西陣織の若手職人が中心となって裂地の選定を行い、京都市へ無償で提供させていただきました。

**京友禅協同組合連合会**

京友禅の地下鉄へ活用は伝統産業の活性化にとって有意義であり、今回京都市の厳しい財政状況も考え無償で提供させていただきました。修学旅行生をはじめ、観光客、市民の皆様は伝統産業の魅力を知ってもらい、歴史都市京都の更なる発展につなげてもらいたいと思います。

# 国の原油・物価高騰緊急策に呼応せよ

## 給付金6月支給開始へ

### 低所得の子育て世帯向け

山科区

### 吉井あきら議員

■吉井あきら議員（質問） 先般、政府において「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」がまとめられました。本市においても、これと歩調を合わせ、厳しい状況に置かれている生活困窮者、中小企業等の支援にスピード感を持って取り組む必要があると考えますが、市長の考えを伺います。

### 2類から5類へ検討を重症化リスク重視へ

■吉井あきら議員（質問） 高齢者や基礎疾患をお持ちの方といった重症化リスクのある方に重点を置き、軽症者などは、保健所を通さず、地域の医療機関で直接対応することも可能になってきたのではないかと専門家の意見もあり、市民の皆様からも、2類相当から5類相当への見直しを求め、意見を数多く伺っているところです。

### ●吉井あきら議員の代表質問●

- 1 府市協調の更なる推進について
- 2 コロナ禍における財政運営について
- 3 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 4 都市の持続性と市内周辺地域の活性化に向けた戦略的なまちづくりについて
- 5 山科地域の活性化に向けたにぎわい空間の創出について
- 6 生産基盤整備をはじめとする農業振興について（要望）

そこで科学的な知見を踏まえて、感染対策を講じながら社会経済活動に軸足を置いた対応を国に求めていくべきと考えますが、次のステップに向けた対応について考えを伺います。

います。

■吉田良比呂副市長（答弁）

科学的知見に基づき、重症化リスクの高い方に重点化するなど、柔軟に対応できるように感染症法における取扱いの見直しの早急な検討を、指定都市市長会や関西広域連合を通じて既に国に求めております。

### 東インター周辺に道の駅等賑い空間

■吉井あきら議員（質問） 観光シーズンには多くの車両が利用する京都東インターチェンジの周辺に、道の駅のよう

なにぎわい空間の創出ができていないでしょうか。様々な課題がありますが、

将来の山科、京都市全体の発展を考えた場合、山科地域へ道の駅のようなにぎわい空間の創出を是非ともお願いしたい。市長のご見解をお伺いします。

■門川大作市長（答弁） 吉井議員の地域の発展に賭けられる政治家としての熱い思いと、ご提案の趣旨を踏まえ、山科地域はもとより、京都全体の活性化に資するにぎわい空間の創



道の駅（ウッディー京北）

出の可能性について、複眼的、中長期的な視点を持って研究してまいります。

# 京都市版新しい資本主義

## 成長と分配の好循環を

### 公共事業の経済循環と民間取引事業者の支援

### ●南区

### しまもと京司議員

■しまもと京司議員（質問） 地域経済の活性化による潤いや福祉を多くの市民が享受できるよう、公共事業において多層的な下請けや人員、資材、物流他に至るまでの市内循環と分配を重点的に担保し、市外流出をさらに抑制す

る取組を。民間の取引においては市内99.7%の中小事業者に不当なしわ寄せが生じないように、価格転嫁や雇用を守り抜き、製品やサービスの開発・体力強化の支援に向けて国や府との連携も強化した対策・方針を。

■門川大作市長（答弁） 昨今の原油価格・物価高騰も踏まえて主要発注企業に対し直ち

### 文化都市プロジェクトと新しい東九条の活性化

に下請取引の適正化を要請するとともに、本市独自17名の経営支援員増員にて技術・販路拡大の伴走支援と、引き続き公契約における取組を進め、下請取引の適正化等、地域企業に寄り添った支援に全力で取り組めます。

■しまもと京司議員（質問） 現在の混迷の時代と行き詰まりを打破すべく文化・芸術を活かして経済活性の資源とす

る振興政策を。新たな時代の価値観と今後の芸術・アート作品市場の活性化、マーケットの場が必要。京都駅東南部エリアには新しい文化芸術とアーティストや学生の活動・居住の場を創出し、地域と住民交流による活性化を。南岩本公園の再整備で施設活用は文化芸術の要素にすべき。

■吉田良比呂副市長（答弁） アート市場活性化事業として作品に触れ購入する機会や、京都芸術センターで起業家と芸術家のマッチング促進「アーツエイド京都」他、従来の延長ではない創造的な成長戦略を推進し、京都芸大が移転する東南部エリアや南岩本公園でも地域交流・文化芸術活動やチームラボなどのア



東九条に誘致・開業決定したアートとテクノロジーの融合施設「Team-Lab」イメージ図

### ●しまもと京司議員の代表質問●

- 1 「新しい資本主義」における本市の「成長と分配の好循環」について
- 2 「歩くまち・京都」総合交通戦略の改定と持続可能な交通網について
- 3 本市成長戦略としてのESG投資の拡大と循環型社会の構築について
- 4 同・戦略「文化と経済の好循環を創出する都市」と芸術産業化について
- 5 今後の南区役所やヘルスピア等地域一体的な活性化について（要望）
- 6 塔南高校の跡地活用と南区南西部の文化的発展について（要望）

### 南区役所中心のエリアと塔南高跡地も文化性を

■しまもと京司議員（要望） ヘルスピア21の併用でもあった南区役所の新整備構想も提案の中、市のみならず国や府、地域企業とも一体的な近隣の種々公共施設・住民生活利用施設等との合理的エリア将来像を考慮すべき。区の西部地域で複数の下水処理施設や食肉処理市場等の中心付近にあつた塔南高移転後跡地についても同様、高い文化性と健康・福祉的で豊かな活性化を要望。

【代表質問】 5月市会 (5月23日)

# 上下水道の安心・安全を守る

## 配水管更新事業の見通し

### 災害時の影響も考慮した更新計画を

●中京区  
加藤昌洋議員

■加藤昌洋議員 (質問) 今年度はビジョン10箇年の折り返しの年であり、令和5年度からの新たな中期経営プランを策定する重要な年となります。上下水道事業は市民の安全・安心な暮らしを支える重要な役割を担っており、事業を確実に前進させていかなければなりません。そこで、次の5箇年の配水管更新事業について、更新率も含めてどのように進めていくのかお伺いいた

します。

■門川大作市長 (答弁) この間予算を増額し、かつて0.5%であった更新率を1.5%まで大幅に向上させるなど、重点的に取り組んでいる水道配水管の更新事業につきましては、次期プランでは、災害等が発生した場合に広範囲に影響を及ぼす口径の大きい配水管の更新割合を増加させることを検討しており、更新率の維持を目標とするのではなく、リスクを踏まえた管路更新を着実に推進することと、ビジョン目標である令和9年度までの「老朽配水管の解消率76%」の達成と14年度までの解消を目指してまいります。

## 市バス・地下鉄運賃 値上げ回避を目指す

■加藤昌洋議員 (質問) 京都市内で市バス・地下鉄に乗ってもらうように、予算をかせぎにあらゆる取り組みを行っていただきたいと考え

ています。例えば、スポーツツーリズム等とも連動しながら、市バス・地下鉄をご利用していただける仕組みを作ることもできるかもしれません。市民の足である市バス・地下鉄の経営改善に向けて、増客を図ることが非常に重要となりますが、どのように取り組み、見通しを立てていくのか、お考えをお聞かせくだ

さい。

■門川大作市長 (答弁) 通勤通学のお客様の回復に向けては企業や大学を直接訪問し定期券の利便性やメリットを説明するなどの営業活動を展開してまいります。定期以外の増客に向けては、例えば、JR西日本と連携した京都サングの試合観戦者の御利用や百貨店、美術館・博物館、国際会議場などの連携を計画しており、こうした集客施設などと連携しながら新たなお客様の獲得に努めてまいります。



オール京都市の総力を結集した増客の取組も推進してまいります。

## 京都市健康増進センター

### ヘルスピア21の廃止

ヘルスピアについては、開設から30年が経過する中、現在では、市内全体において民間事業者により100ヶ所以上もの類似施設が運営されており、開設当時と比べ、京都市が公の施設として設置する必要性及び効果が低下して

16億円もの改修経費の負担が見込まれることから、廃止されることが決定しました。廃止される機能は、トレーニングジムやプール等であり、1階部分の南区保健福祉センター、南区役所ホール、会議室及び栄養指導室は存続されます。

今回の議決にあたり、付帯決議において、

また管理運営に、**毎年**度、**約7000万円の公費**を投入し続けなければなら**ない**ことや、設備の老朽化に伴って、**今後10年間で約**

1. 利用者をはじめ、広く市民に、本施設が廃止に至った経緯、趣旨をしっかりと丁寧に説明すること

2. 本施設1階の機能継続等の正しい情報を伝えるとともに、各種ボランティア活動、各種教室の継続確保、代替施設の利用について、利用者により丁寧に説明を尽くし、調整すること

3. 廃止後の施設の各種スペース、地下駐車場等の暫定利用などの活用については、検討委員会等を設置の上、幅広く意見を求め、当該エリアにある区役所など公共施設等も含めた用地全体のマネジメントを行い、地域の活性化に繋がるよう議論を進めること



廃止が決まった「ヘルスピア21」

## 市政のリーダーシップ 自民党市会議員団

<b>団長</b> 橋村 芳和	<b>副団長</b> みちはた弘之	<b>代表幹事</b> 津田 大三 寺田 一博	<b>幹事団</b> 加藤 昌洋 平山たかお 井上よしひろ	<b>政策委員長</b> 田中たかのり
<b>総務消防</b> 井上よしひろ 津田 大三 下村あきら しまもと京司	<b>文化環境</b> みちはた弘之 富 きくお 寺田 一博 西村 義直	<b>教育福祉</b> 平山たかお 橋村 芳和 田中 明秀 椋田 隆知 田中たかのり	<b>まちづくり</b> やますまい子 中村三之助 山本 恵一 吉井あきら	<b>産業交通水道</b> 加藤 昌洋 繁 隆夫 さくらい泰広 森田 守
<b>予算・決算特別委員会</b> <b>第1分科会</b> 富 きくお 津田 大三 西村 義直 下村あきら さくらい泰広 みちはた弘之 井上よしひろ	<b>委員長</b> <b>第2分科会</b> 田中たかのり 橋村 芳和 中村三之助 山本 恵一 田中 明秀 平山たかお やますまい子	<b>さくらい泰広</b> <b>第3分科会</b> 森田 守 繁 隆夫 寺田 一博 吉井あきら 椋田 隆知 しまもと京司 加藤 昌洋	<b>市長</b> 田中 明秀	<b>市会運営委員会</b> 津田 大三 ◆ 寺田 一博 ◆ 森田 守 加藤 昌洋 平山たかお 井上よしひろ
			<b>議長</b> 田中 明秀	<b>監査委員</b> 西村 義直

令和4年6月1日現在

※赤字…委員長  
※青字…副委員長  
※◆…理事

### 文化環境委員会

文化環境委員会では「文化首都・京都」、「環境共生と脱炭素のまち・京都」の実現のため、文化・芸術・スポーツ振興、地域コミュニティ活性化、また再生可能エネルギーの拡大、ごみ減量等の環境政策について議論しています。



### 総務消防委員会

総務消防委員会では、昨年度に取りまとめられた「行政改革計画」の着実な実施をチャンスと捉え、都市の成長戦略やSDGsの取組の推進、市民の安心・安全を守る消防行政など、市政全般にわたって議論を行ってまいります。



## 常任委員会の議論と取組

### 自由民主党京都市議会議員団

市政の分野別に設置されている5つの常任委員会において、条例などの提案、請願・陳情の審査や、京都市の事務に関する調査など、市民・事業者の皆様のために1年を通じて議論を行います。集中期間外の常任委員会は、毎月第2、4週を基本に、総務消防委員会を月曜、文化環境委員会を火曜、教育福祉委員会を水曜、まちづくり委員会を木曜、産業交通水道委員会を金曜に開催しています。なお、常任委員会の他に、市会内部の連絡交渉や議事運営を行う「市会運営委員会」、予算及びそれらの関連議案並びに決算の審議を行う「予算・決算特別委員会」が設置されています。

皆様のご意見やご要望をお寄せください。

【自民党京都市議会議員団】 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 jimin3@nifty.com FAX.257-3091



氏名の  
◎は委員長  
○は副委員長

### 産業交通水道委員会

産業交通水道委員会では、市内産業の活性化や企業誘致及び観光対策等に関する事、市民の足である市バス・地下鉄の安定した事業運営に関する事、上下水道事業での管路の更新や将来的な広域化の可能性等について議論を行っています。



### まちづくり委員会

まちづくり委員会では、公園、道路や橋りょう、駅のバリアフリー化など都市基盤の整備や維持管理、また、若者・子育て世帯の移住、定住促進など幅広い議論を重ね、市民の命とくらしを守り、京都の都市格向上を目指します。



### 教育福祉委員会

教育福祉委員会では、教育委員会、保健福祉局、子ども若者はぐくみ局を担当します。未だ予断を許さない新型コロナウイルス感染症の対策を講じ、市民の皆様の



命と健康、そして福祉をお守りすることを最優先に議論を行ってまいります。

令和4年6月1日現在